

## 研究に関するお知らせ

### 高解像度食道内圧測定による食道胃接合部バリア機能の評価

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院消化器内科では、以下にご説明する研究を行います。この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんので、ご安心ください。

#### ■研究の概要

胃食道逆流症は、胃内容物が食道内へ逆流することにより発症しますが、どのくらい食道に逆流しているかは、食道インピーダンス・pH検査により測定することが可能です。また、胃と食道の境目には括約筋が存在しバリア機能を形成しており、食道内圧測定によりこのバリア機能を測定することが可能です。本研究では、食道への逆流量と、バリア機能の関係を評価します。

#### ■研究期間

理事長許可日～2026年3月31日を対象研究期間とします。

#### ■研究の対象となる方

2012年8月1日から2025年3月31日までに当センター病院消化器内科を受診し、食道運動機能の評価目的に食道内圧検査を、また食道内逆流の評価目的に食道インピーダンス・pH検査を行なった、20歳以上の方。

#### ■ご協力頂く内容

本研究では診療録に記載された内容（年齢、性別、身長、体重、検査値等）を研究に使用させていただき、新たにご負担いただくことはございません。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。診療以外での採血など、患者さんに新たにご負担頂くことはございません。

#### ■本研究の情報開示について

あなたのご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。また、本研究で収集させて頂いたご自身の情報を当院の規定に則した形でご覧いただくことも出来ます。ご希望される方は、どうぞ記載のお問合せ先にお申し出ください。

#### ■利益相反について

本研究において利益相反に値する状況はありません。

■お問い合わせ先

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院

研究責任者 消化器内科 医長 秋山純一 電話番号 03-3202-7181(代)